
ノーヒットノーラン

藤田迷路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ノーヒットノーラン

【Zコード】

Z3828C

【作者名】

藤田迷路

【あらすじ】

苦悩と葛藤を抱えたスラッガーは今日もまた胸を叩く。BUMPSのインディーズ時代の1stアルバム『FLAME - VEN』とarck5の『ノーヒットノーラン』を基に書いた歌詞小説です。

(前書き)

妄想の類ですので見解に大差小差あります、どうか寛大な目で読んでやってください。

「かつ飛ばせ！」

「お願い。打つてーー！」

「一本、大きなの頼むぜ！」

ネクストバッターズサークルにいる俺を、みんなの目が焦らせる。後ろに倒れそうになるのを、みんなの言葉がそうさせない。

そうだ。俺はエースなんだ。

溜め息なんて許されない。ノーヒットなんて許されない。みんなの期待を背負うエースなんだ。いつも「任せろ」と胸を叩き、「大丈夫」と笑って見せる。

それが俺なんだ。

前の打者の投球に合わせバットを振る。

いつしか自分に手錠をはめていた。

他人が望む俺は怯えないし、甘えないし、落ち込むなんて言葉とは無縁なんだ。 そうじゃなきゃ俺は存在しちゃいけない。

ただ、今にもこの場を逃げ出して本当の自分を出せたらどれだけ楽だろう。 でも、本当の俺を知る人なんて誰もいない。

俺はもっと純粋に野球を楽しみたいだけなんだ。 子供の頃、原っぱでゴムボールを投げては打つっていたあの頃のように。

三回目のストライクのコールが聞こえた。

それでも俺は、どこかで誰かからの賛辞と拍手を欲している。それが俺の存在意義になる。

同時に賛辞と拍手に飢え、エースである俺を捨てられないことも

事実だ。

“みんなの俺”を捨てた俺には何が残るのだろう。本当はみんなの失望に常に怯えている臆病な俺には、一体何が出来るのだろう。

「残るはお前だけだからな！」

「お前に任せたぞ！」

「お前だけが頼りだ！」

球場の幾千の目が俺に注がれる。一気に噴き出した汗をリストバンドで拭う。

そうだ。もつと俺に力をくれ。この震えを止めてくれ。崩れそうな足を支えてくれ。

俺は臆病で、一人じゃ何も出来ない。

誰かひとりにでもそれを知つてほしいから、俺はいつものようになりせろ」と胸を叩く。

みんなの声が一段と大きくなつた。それだけで少し笑顔になれる。俺はヘルメットを深く被り直した。

(後書き)

「精読、ありがとうございました。」

初の短編で、さらに数時間で書き上げたもので、まとまりなくて反省です。

大まかなイメージはハニカミ王子」と石川遼選手です。

マスコミの熱狂振りに対する葛藤があつたらこんな感じじゃないかなあ、と思いながら書きました。

人によって曲の捉え方は様々あります。

ですが、この小説がアナタの描く『ノーヒットノーラン』と同じであれば嬉しいなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3828c/>

ノーヒットノーラン

2010年10月17日02時39分発行